

日程 2014年8月27日(水)～29日(金)

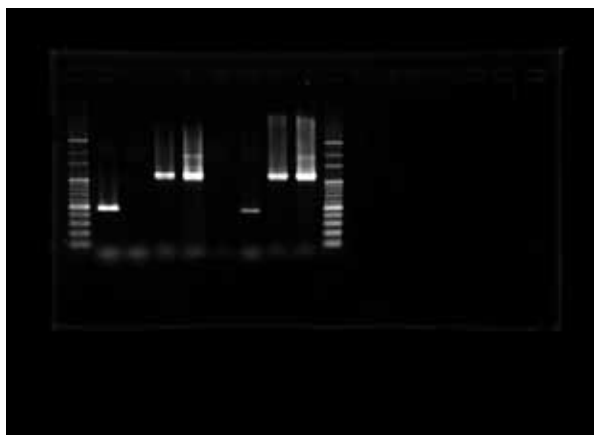
場所 東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻 植物生存システム分野、河野重行教授の研究室



実験で観察したクラミドモナスの雌雄の接合



マイクロピペットでの実験操作



クラミドモナスの雄遺伝子を釣り出し、PCRで増幅した後、電気泳動した、実験成功！



ゼミの最後に、実習のまとめをプレゼンテーション、スライドをつくり発表、何とか課題クリア

内容 - 「性の進化を探ろう」 東大ゼミ + 国立環境研究所(つくば) 2泊3日
参加生徒 4名(Rコース3年2名 + Aコース2年2名) + 引率教員1名

日程

- 27日午後: オリエンテーション、講義、予備実験、歓迎会
- 28日午前: 講義、DNA抽出実験、
午後: 説明、特定遺伝子の釣り出し、PCR実験、講義、電気泳動実験
- 29日午前: 講義、まとめの発表、講評
午後: 国立環境研究所見学 生物・生態系環境研究センター(藻類の系統保存)、
環境遺伝子工学実験棟

感想: 生物の進化や分類の分野を教科書での勉強と関連して深く詳しく学ぶことができた。実験では、使ったことがない器具にとまどったが、上手く使えるようになった。施設見学では、高校では見ることのない実験器機を知り、さらに触れることができ、うれしかった。国立環境研では国としても、環境保全や遺伝子組み換え実験などいろいろな研究をしていることが実際によくわかった。